



御寄附いただいた皆様へ

御寄附いただきました皆様に水戸市動物愛護センターの取組等を紹介させていただく情報誌として、昨年7月に「きずなだより」を発刊し、今回が第4号となります。

前回に続き、当センターの業務や新たな

「ワンニャンきずなカード」などを御紹介させていただきますので、御一読ください。



みとちゃん



2025年保護犬猫の卓上カレンダーについて

水戸市動物愛護センターを開設し、5年目を迎えておりますが、この度、皆様からいただいた寄附金を活用し、これまでに保護された犬猫の当センターで過ごした期間に撮影した選りすぐりの写真を素材にし、オリジナルの2025年版卓上カレンダー（非売品）を300部作成しました。

モデルになった犬猫は、皆、センター職員にとって思い出深い子たちです。カレンダーの写真はその一瞬の姿であります。愛らしい表情や仕草を通して保護犬猫の魅力を感じていただき、また、その後の里親の下での幸せな姿を想像していただきたく、同封させていただきましたので、家庭や職場等に置いていただき、1年間、心の癒しに役立てていただければ幸いです。

また、月毎に、飼い主様に守っていただきたい正しい飼い方に関する簡単なメッセージを入れていますので、犬猫を飼ってらっしゃる方におかれましては、適正飼養の参考にしてください。

なお、当カレンダーにつきましては、多くの市民の皆様へ、保護犬猫の魅力を知っていただくとともに、動物愛護への関心を高めていただくために、以下のとおり無料配布させていただきました。

- ① イベント会場において動物愛護に関するアンケート調査にご協力いただいた方へ
- ② 譲渡犬猫の写真展への感想等をお寄せいただいた方へ

2025
保護犬&保護猫
CALENDAR



※犬猫の顔の並びは、譲渡犬猫の顔の並びと一致するようにしています。



センター業務の紹介：狂犬病予防接種啓発業務

当センターでは条例や法律に則って動物の適正飼養について普及啓発，必要に応じて飼い主への助言，指導を行っております。今回は「狂犬病予防接種啓発」について採り上げます。

【狂犬病予防接種啓発】

犬の所有者は毎年1回狂犬病予防注射を，飼い犬に受けさせることが法律（※）によって定められています。水戸市では狂犬病予防注射の接種率向上のため，毎年3月末から4月初頭頃，水戸市内の全ての飼い主さま宛てに，狂犬病予防注射の案内を送付しています。

また，狂犬病予防注射の未接種犬を確認した場合，毎年9月頃に再度，予防接種の案内を送付しています。（※）狂犬病予防法

【エピソード紹介 ～集合注射編～】

狂犬病予防集合注射にて，とある柴犬の番になった際，ワンちゃんが必死に逃げようとしてしまいました。顔が首輪に引っかかり，ワンちゃんの顔が絞った雑巾のようにクシャクシャになり，次の瞬間，スポン！と，首輪が外れてしまいました。ワンちゃんはそのまま脱兎のごとく逃げてしまいました…。なお，そのワンちゃんは翌日，ちゃんと家に帰りました。

※集合注射の開催時期である4・5月は換毛期のため，首輪がすっぽ抜けることが多いです…。飼い主の皆さまは，普段から，首輪の緩みや劣化，鎖の破損がないか定期的に点検するなどくれぐれもご注意ください。



犬の係留義務について

市の条例において放し飼いまたは一時的であっても散歩中などに犬を放す行為は禁じられています。

大切な愛犬が逃げてしまい，その後センターに収容された事も多々あります。中には飼い主の元には戻れず未だ待ち続けている犬達もいます。

保護されず，事故にあったり，場合によって人を咬んでしまったりとトラブルに発展することもあります。

センターでは，市民からの通報や相談を受け，飼い主の指導を行ったり，注意喚起の看板やリーフレットを作成し，啓発を図っています。

飼い主が探している飼い主不明の動物はホームページに掲載しています。

「犬猫等の公表情報」

「愛護センター収容中の動物たち」センターで保護している動物

「動物の逸走動物」飼い主さんが探している動物

「動物の保護情報」一般の方が保護している動物



なおセンターが開設した令和2年から令和6年12月の時点で公表情報154件，逸走情報668件，保護情報257件（猫やその他の動物も含む）となっています。大切な愛犬は一時も放さないようにしましょう。



動物愛護センターの愛称について

当センターにお電話いただく方には、未だに、水戸市役所の行政機関であることを知らずに、民間の動物愛護団体等と勘違いされて電話をされる方も散見されており、市民への広報が不十分であることを実感しているところです。

そのため、当センターがより多くの市民の皆様に認知され、さらに身近に感じられ、親しみやすい施設となるよう、10月4日から11月5日にかけて、当センターの愛称を募集したところ、応募者の思いが伝わる190作品もの御応募をいただきました。

今後、以下のスケジュールにより、愛称を決定し、来年4月1日には新たな愛称を使用させていただきながら、積極的な広報に努めていきます。

どのような愛称に決まるのか、皆様も楽しみにしてください。

<愛称の選考基準>

- ・水戸市及び動物愛護センターのイメージに合ったもの。
- ・わかりやすく、かつ呼びやすく、親しみを感じやすいもの。など

<愛称使用開始までのスケジュール>

- | | |
|-------------|-------------------------------|
| 10月4日～11月5日 | 愛称の公募 |
| 12月下旬 | 愛称選考委員会の開催
(最優秀作品、優秀作品の決定) |
| 1月下旬 | 愛称の決定 |
| 2月下旬 | 入賞者の表彰式 |
| 4月1日～ | 愛称の使用開始 |



里親募集中の猫たち

FIP(猫エイズ)陽性ですが食欲旺盛で元気な子達です。薄いブルーのキレイな瞳が特徴的です。



しまお (男の子)



くり (男の子)



ワンニャンきずなカードのモデルについて

ワンニャンきずなカードのモデルとなった保護動物達を紹介させていただきます！
バージョン4は子犬・母犬と仔猫についてです。

なお各カードはシリアルナンバー入りで、御寄附いただいた貴方様だけのものとなっています。

「ワン🐶」 子犬と母犬（母犬のセンターでの愛称：マミ）

母犬が民家の物置で7匹の子犬を育てていたところを保護しました。子犬たちは収容後2ヶ月以内に譲渡されましたが、母犬は臆病で警戒心が強く、リードに繋がれることも苦手だったため、なかなか譲渡ができませんでした。しかし保護から10ヶ月後、根気よく接してくださる里親さんが見つかり、無事譲渡することができました。今では飼い主さんと遠方まで車で出かけることもできるようになったそうです。



シリアルナンバー



シリアルナンバー

「ニャン🐱」

生後約2ヶ月齢の頃、2匹の兄妹と一緒に遺棄されていました。顔の柄が特徴的な女の子です。ちょっと気が強く、兄妹の中では一番最後の譲渡となりましたが、優しい飼い主さんの元で幸せに暮らしています。



センターに收容中の犬猫の里親さんを募集中！

收容された犬猫のうち、譲渡適正があると判断された子について、新しい里親さんを募集しています。譲渡を希望される方は、センターホームページで譲渡の流れ及び里親の基準をご確認の上、センターで犬猫とお見合いをしていただいております。お見合いは、譲渡会のように決められた日時のなかで行うのではなく希望者の都合に応じて都度開催することで、少しでも新しいご縁につながり機会が増えるよう努めています。

詳細は右のQRコードを御参照ください。



イベントの報告①譲渡犬猫写真展

水戸市動物愛護センターの開設5年を記念して、里親の下で幸せに暮らす譲渡犬猫写真展を水戸市立見和図書館（9月14日～26日）、水戸市役所（10月1日～10日）にて開催いたしました。

当センターでは、令和2年度から5年度の4年間に469頭の犬猫たちを新たな飼い主である里親さんに譲渡してまいりました。今回の写真展では、そのうち水戸市内に譲渡し、応募していただいた92家庭の犬猫たちの写真を、寄せられたメッセージとともに紹介させていただきました。写真には、センターに収容された時のおびえた悲しげな顔からは想像できないような安心しきった表情が写っており、また、メッセージには里親さんの愛があふれ、どの犬猫たちも幸せに暮らしていることがわかるものばかりでした。一部の写真とメッセージについては、センター内にも掲示する予定になっております。センターに足をお運びの際は、ぜひご覧になっていただければと思います。

また、御来場の皆様からは、30通を超える写真展の感想と動物愛護センターへの応援メッセージをお寄せいただきました。

「ワンちゃん、ネコちゃん、みんな幸せそうで、見ている私も幸せになりました」「今、飼っている犬猫をこれからも大切にします」などのメッセージが多く寄せられ、幸せのお裾分けができたようです。

「大変でしょうが、これからも頑張ってください」という動物愛護センターへの応援もたくさんいただき、職員一同、日々の業務の原動力となりました。



イベントの報告②映画上映会

動物愛護週間と譲渡犬猫写真展に合わせて、映画「ノー・ヴォイス」の上映会を、9月22日水戸市立見和図書館で行いました。

毎日を無気力に、いい加減に生きる青年が、ひよんなことから捨て犬と出会い、妙な巡りあわせによってアニマルシェルターで働くこととなります。その青年が、捨て犬と仲間たちとのふれあいの中で命の尊さ、共に生きることの大切さを学び成長していく物語です。

会場は満席となり、全員が真剣に見入っていたのが印象的でした。鑑賞した方々には、何かを持ち帰っていただけたのではないのでしょうか。

余談ですが、会場で2度目の視聴となった動物愛護センター長は、2度目にも拘わらず、涙目になっていました（笑）。



イベントの報告③らぶ・わん・ふえす

昨年わんわん祭りを開催した水戸商工会議所青年部の有志が実行委員会を立ち上げ、期間を2日間に拡大して、「らぶ・わん・ふえす」が10月5日、6日千波湖ふれあい広場で開催されました。動物愛護センターもこのイベントに参加し、動物愛護の普及啓発活動と保護猫の譲渡会を行いました。1日目は、あいにくの天気で、人出も少なかったのですが、2日目はまずまずの天気となり、大勢のお客様が来場され盛況でした。



センターの一コマ

センターの事務所は動物達が人馴れのための訓練の場所でもあります。この子はハルオ。みんなからハル君と呼ばれていました。同期の仔犬たちの中で居た期間は長かったですが、その分職員一同に愛敬をふりまいてくれました。事務所では職員の仕事ぶりを監視しながら、時には苦情の電話対応で落ち込んでいる職員を励ましてくれていました。譲渡の際は職員一同で見送らせてもらいました。良かったね、ハルくん。



編集後記

今後も、動物愛護センターの業務内容や職員の思いが伝わるよう、様々な情報を発信してまいります。

過去のきずなだよりは、当センターのホームページに掲載しておりますので、右のQRコードを読み取り、御参照ください。

